

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
3	7	布 田 恵 美	<p><u>外国人労働者の受入れ対応について</u></p> <p>1. 外国人労働者の受入れを拡大する改正入国管理法が2018年12月に成立した。新しい在留資格「特定技能」の対象となる「14業種」で受入れが可能となり、2019年4月から施行される。今後、市内における就労拡大を見据えた対応等を伺う。</p> <p>(1) 現状の認識を問う。</p> <p>(2) 既に市内に暮らす外国人の方もおられる中、多文化共生の点から新たな課題も考えられる。</p> <p>① 住民サービスとして相談窓口は、どのように対応しているのか。</p> <p>② 自治体として受入れ体制はどのように整えているのか。</p> <p>③ 公共施設の看板や道路表示などの見直しも必要ではないか。</p> <p>(3) 異文化での暮らしで生活習慣などの違いもあるやに聞く。居住地域内や、在住しての市民生活上での困りごとの声は届いているのか。</p> <p>2. 新たな法案では、新在留資格「特定技能」が2種あり、「特定技能2号」では熟練した技能が必要な業務に就き、在留期間を更新することが可能となる。配偶者と子どもを帯同することができ、条件を満たせば、「永住」できるようになる。</p> <p>(1) 外国人労働者の家族に対する支援、特に出産、育児また学齢期に達して就学することへの検討も必要に思う。</p> <p>① 出産、育児支援についての検討はどうか。</p> <p>② 就学支援や受入れ体制の検討はどうか。</p> <p>3. 共に同じ地域に暮らす上で、外国人労働者に日本文化をしっかりと学ぶ機会を提供し、地域文化との交流や相互理解の場が欠かせないものだと考える。市民まつり、市民交流フェスティバルなど多くの市民が集う場においても相互の文化の交流などを企画してはどうか。</p>	市 長 教育長
4	1	佐 藤 剛 太	<p><u>外国人の受入れについて</u></p> <p>1. 外国人労働者について</p> <p>(1) 本市における現状について</p> <p>① 市内で住民登録を有する外国人労働者数と主</p>	市 長 教育長

(続)	1	佐藤 剛太	<p>な国籍を伺う。</p> <p>② 外国人労働者数と近年の推移について伺う。</p> <p>③ 市内企業の労働力の確保状況について伺う。</p> <p>(2) 今後の拡大する外国人労働者への対応について</p> <p>① 行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備受入れについて伺う。</p> <p>② 外国人労働者の受入れの拡大を検討している企業や新しく受入れを検討している企業について伺う。</p> <p>③ 地域との多文化共生について伺う。</p> <p>④ 医療・保健・福祉サービスの提供環境の整備について伺う。</p> <p>⑤ 災害発生時の情報発信・支援について伺う。</p> <p>⑥ 外国人児童・生徒への教育について伺う。</p> <p>(3) 4月から改正出入国管理法施行に伴う外国人労働者の受入れ拡大に対する本市の見解を伺う。</p> <p>2. 訪日外国人旅行者について</p> <p>(1) 本市の今後のインバウンド拡大に対する考えについて</p> <p>① キャッシュレス化について伺う。</p> <p>② 今後の観光振興施策について伺う。</p> <p>③ インバウンド拡大が見込まれる観光施設の周辺環境整備について伺う。</p> <p>④ 新たな観光拠点の誘致について伺う。</p> <p>(2) 宮城県が平成31年度予算で計上したIR導入可能性調査費における今後の本市の対応について伺う。</p>	市長 教育長
5	10	渡辺 ふさ子	<p>教育の取組について</p> <p>1. 就学援助について</p> <p>(1) 市の就学援助の支給内容について伺う。</p> <p>(2) 国の基準に2019年度から「卒業アルバム代等」の項目が新設される。また、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、日本スポーツ振興センター掛金も基準に含まれている。岩沼市の支給内容を見直してはいかがか。</p> <p>(3) 就学援助の小・中学校の認定率を伺う。</p> <p>(4) 就学援助制度の案内を見ても、申請に該当するかどうか、分からないという声がある。案内に収入基準等のモデルケースも示してはどうか。</p> <p>2. 教職員の働き方について</p> <p>(1) 授業時間のコマ数を小・中学校ごとに伺う。</p>	教育長

<p>(続)</p>	<p>10</p>	<p>渡辺 ふさ子</p>	<p>(2) 残業時間の現状を小・中学校ごとに伺う。 (3) 運動部活動に関する「スポーツ庁ガイドライン」の実施状況を伺う。 (4) 学力テスト関連の業務はどのようなものがあり、どの位の時間が割り振られているか。 (5) 小学校の担任は全ての教科を受け持ち、負担が大きいと考えられるが、教科担任の導入はどのように行われているか。 (6) 業務削減はどのように図られているか。</p>	<p>教育長</p>
<p>市長の政治姿勢について</p>			<p>1. 自衛官募集について (1) 自衛隊法施行令第120条に防衛相は自治体に適齢者名簿などの「資料提出を求めることができる」とされている。これは要請できるとあるだけで、自治体が応じる義務は規定されていない。見解を伺う。 (2) 本人の同意のない個人情報の提供は、憲法第13条を根拠とするプライバシーの権利を侵害するのではないか。見解を伺う。 (3) 市は、平成26年度から18歳になる適齢者名簿などの資料提出を行っているが、個人情報保護条例に基づき、資料提出はやめるべきではないか。 2. 女川原発2号機の再稼働について (1) 女川原発再稼働の是非を問う県民投票条例について ① 条例制定を求める直接請求署名は、「選挙権を有する者の50分の1以上の連署をもって条例の制定を請求することができる」という地方自治法第74条に基づくもので、11万1,743筆が県議会に提出された。岩沼では有権者の50分の1である731名の3.11倍の2,274筆の署名が寄せられた。署名に込められた市民の思いを市長はどう受け止めているか伺う。 ② 住民投票制度の意義をどのように捉えているか伺う。 ③ 県民投票条例に対する賛否を伺う。 (2) 村井嘉浩知事は、再稼働の是非の判断に関して地域住民の意見を踏まえる必要性を挙げ、議会や市町村長の意見を聞いた上で知事が判断することが「多様な意見を踏まえた妥当な判断につながる」との見解を示した。再稼働の是非について見解を</p>	<p>市長</p>

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>伺う。</p> <p>3. カジノを含む統合型リゾート施設（IR）について</p> <p>(1) 県は、IRを導入するための可能性調査費を来年度予算案に計上した。村井嘉浩知事は、県議会の代表質問に対し「一部の自治体から積極的に求める声が上がったため、メリット、デメリットを確認したい」と答弁した。この件に関し見解を伺う。</p> <p>(2) 平成29年6月議会で採択されたIRに関する請願書に対し、請願の処理経過及び結果において、市長は「いわぬま未来構想が描く岩沼の将来像の実現に当たり、必要不可欠な施設であるとの認識には至っておりません」「現時点においては、本市が独自にIR導入可能性についての調査を行う必要性は見出せないものと判断しております」と回答している。同年9月議会での確認のための私の質問にも「健幸先進都市を目指すということはずれません。」「市の身近な所にカジノの必要性は考えておりません」と答弁している。考えは変わらないのか、見解を伺う。</p> <p>4. 宮城県上工下水一体官民連携運営（みやぎ型管理運営方式）事業について</p> <p>(1) 平成29年6月議会で運営検討会の意見を注視し、必要がある場合は受水をしている市町で意見を申し上げていきたいと答弁があったが、これまで届けた意見はあるか伺う。</p> <p>(2) 今後の進め方で提案されている工程を伺う。</p> <p>(3) 懸念されることがあれば伺う。</p>	市長
6	9	須藤 功	<p>道路新設改良事業、朝日2号線について</p> <p>1. 朝日2号線新設の経緯について伺う。</p> <p>(1) 県営圃場整備事業の実施計画は、平成27年度時点で4mの道路幅員を計画していた。しかし、市長は28年2月議会の代表質問で8mと答弁している。宮城県と事前協議をしたのか。</p> <p>(2) 宮城県は、28年度に岩沼市から実施計画の見直し要請があり、計画を変更した。変更した用地買収はどのような形式で行ったのか。</p> <p>(3) 今回購入した用地費用の総額はいくらか。</p> <p>(4) 圃場整備上の換地費用と比較し、差額はどれくらいか。</p> <p>2. 工事内容について伺う。</p>	市長

(続)	9	須藤 功	<p>(1) 用地買収費と工事費を合わせ、総額はいくらになるのか。</p> <p>(2) 長岡承水路に係る橋は、今回の圃場整備で「地区外」に当たるから、市は増設せずに4mの既存橋のままにしていると聞く(29年6月定例会の答弁で)。地域の意向を踏まえての結果なのか。</p> <p>(3) 岩沼市が目指す「安心・安全で快適なまちづくり」を目指すのであれば、あさひ野側の歩道は朝日2号線と同じ側に変更して作るべきではないか。</p>	市長
7	11	佐藤 一郎	<p>健康診断等について</p> <p>“健幸”先進都市を宣言している岩沼市における健康診断(診査)、がん検診の受診状況等について伺う。</p> <p>1. 基本健診、特定検診、後期高齢者検診など、平成30年度の健康診断の実施状況を伺う。</p> <p>2. 今年度から受診率向上を目指してがん検診で使えるクーポン券を交付したが、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、前立線がん検診の今年度の受診状況を伺う。</p> <p>3. 健康診断の受診率向上に向けて、31年度はどのような施策を考えているのか伺う。</p> <p>4. がんは早期発見、早期治療が重要だが、検診により要検査等になった場合は、どのような対応を行っているのか伺う。</p> <p>5. 県内では人間ドック助成を行っている市町もあるが、“健幸”先進都市として、人間ドック、脳ドック及び心臓ドックの受診者に対する助成を考えるとどうか伺う。</p>	市長
			<p>企業誘致について</p> <p>1. 空港周辺地域の活性化のために企業誘致が必要と考えるが、進捗状況等について伺う。</p> <p>(1) 施政方針では、矢野目西地区土地区画整理事業の全8区画のうち、面積としては6割強となる4区画の申込みがあり、残りの区画については早期完売を目指すとあるが、完売に向けてどのような対応を考えているのか伺う。</p> <p>(2) 矢野目西地区土地区画整理事業の今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>2. 市域のまちづくりに資するため、市内企業に対する中・長期的なフォローアップが必要だと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長

8	3	高橋光孝	<p><u>パークゴルフ場について</u></p> <p>1. 実証実験の結果について伺う。</p> <p>(1) 実証実験での利用目標の設定を伺う。</p> <p>(2) 実証実験は何日営業して、何名利用したのか伺う。</p> <p>(3) 利用した方からは、どのような意見が寄せられたか伺う。</p> <p>(4) 実証実験の結果をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(5) 岩沼市の競技人口はどれくらいいるのか伺う。</p> <p>(6) 相野釜に整備した場合の需要をどの程度と見込んでいるのか伺う。</p> <p>(7) どのような規模のパークゴルフ場を考えているのか伺う。</p> <p>(8) 運営・管理はどのように考えているのか伺う。</p>	市長
			<p><u>ハナトピア岩沼の活用方法について</u></p> <p>1. ハナトピア岩沼の活用方法について伺う。</p> <p>(1) 現在の条例では夜間使用は出来ないので、子どもキャンプ場として実証実験を行ってはどうか伺う。</p> <p>(2) 現在の条例でデイキャンプや防災キャンプは可能か伺う。</p> <p>(3) 他利用方法を広く民間から募集し、実現可能なところには貸し出すことは考えられないか伺う。</p>	市長 教育長
			<p><u>森林環境譲与税について</u></p> <p>1. 森林環境譲与税について伺う。</p> <p>(1) 当市は、年間でどの程度の額となる見込みか伺う。</p> <p>(2) 森林環境譲与税の使い方にはどのような制限があるのか伺う。</p> <p>(3) 西部地区の放置林の整備にはどの程度使うのか伺う。</p>	市長
9	14	長田忠広	<p><u>防災・減災対策について</u></p> <p>1. 指定避難所の環境整備について</p> <p>(1) 公衆無線LAN（Wi-Fi）整備について方向性を伺う。</p> <p>(2) トイレの洋式化整備について方向性を伺う。</p> <p>2. 避難行動要支援者支援について</p> <p>(1) 当市における避難行動要支援者の避難支援プランの骨格について伺う。</p> <p>(2) 31年度は、どのような方法で避難行動要支援者</p>	市長

(続)	14	長田忠広	<p>名簿を配布する予定なのか伺う。</p> <p>(3) 31年度は、モデル地域を指定して支援のために必要となる個別計画の策定などを進めてはどうか伺う。</p> <p>3. 地区防災計画について</p> <p>(1) 今後、各地域において自主的に地区防災計画を策定していくことが市全体の災害対応力の向上につながると考えるが、このことについてどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 30年度中に地域防災計画が改定されるが、その中で地区防災計画をどのように位置付けているか伺う。</p> <p>(3) 個人、家族単位の避難計画（マイ・タイムライン）策定についての見解を伺う。</p> <p>4. 災害時における井戸水等を活用した施策の進捗状況を伺う。</p> <p>5. 浸水対策として土のうを提供する土のうステーションの進捗状況を伺う。</p>	市長	
			<p>子育て支援について</p> <p>1. 子ども医療費助成制度の対象年齢18歳までの拡大について、どのように検討してきたか伺う。</p> <p>2. 乳幼児健診における小児がんの早期発見について</p> <p>(1) 小児がんの早期発見のためにどのような取組を行っているか伺う。</p> <p>(2) 乳幼児健診の医師検診アンケートの「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加してはどうか伺う。</p> <p>3. 不育症の周知や患者支援の推進について</p> <p>(1) 不育症についての認識を伺う。</p> <p>(2) 気軽に相談できる窓口体制の充実が必要である。相談窓口や支援制度の周知をどのように行っているのか伺う。</p> <p>(3) 不育症の検査や治療の多くが保険適用外となっている。経済的な負担軽減を図り、治療を受けやすくする不育症の治療費助成制度を創設してはどうか伺う。</p>		市長
			<p>民生委員について</p> <p>1. 30年12月議会で「民生委員協力員」制度の創設を提案したが、検討の進捗状況を伺う。</p> <p>2. 民生委員は無報酬ではあるが、民生委員個人に対し交通費や通信費等相当分として自治体から活動費が交付される。これによって、民生委員の活動の幅</p>		

(続)	14	長田 忠広	<p>が広がるが、活動に対して交付額が少ないなど、その妥当性が課題となっている。</p> <p>そこで、活動費のあり方を検討してはどうか伺う。</p>	市長
10	4	植田 美枝子	<p>岩沼駅前整備について</p> <p>1. 現在、工事中の県による岩沼駅前道路改良工事について</p> <p>(1) 供用開始の予定はいつか。</p> <p>(2) 必要な用地の買収は順調か。</p> <p>(3) 完成予定の道路の車道、歩道それぞれの幅はいくらか。</p> <p>(4) 産業道路から駅に入る交差点に右折車線はできるのか。</p> <p>(5) 産業道路の交差点にここを曲がると岩沼駅だともっと分かりやすく大きく表示すべきではないか。</p> <p>2. 岩沼駅前について</p> <p>(1) 市が整備した駅前の市民の評価をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 市民が駅前に求めているのは何だと捉えているのか。</p> <p>(3) 産業道路からの入り口を逆走してしまう車が多いことを把握しているか。</p> <p>(4) 駅前広場が一方通行だと分かりやすいように大きく表示すべきではないか。</p> <p>(5) バイパスから入ってきた車が迷わないように交差点のところに駅までの行き方を表示すべきではないか。</p> <p>(6) 道路幅に問題がないのだから、相互通行にしてはどうか。</p>	市長
			<p>児童館について</p> <p>1. 放課後児童クラブの現状について</p> <p>(1) 現在、利用できる学年は何学年までか。</p> <p>(2) 学区ごとの定員は委託も含めて何人か。</p> <p>(3) 学区ごとの登録人数は何人か。</p> <p>(4) 登録申込みの上限は定めているのか。</p> <p>(5) 支援学級の児童も預かっているのか。</p> <p>(6) 4年生以上でも長期の休みには利用できるようにできないのか。</p> <p>2. 西児童センターのトイレを洋式化すべきではないか。</p>	市長

(続)	4	植 田 美枝子	<p>スマイルサポートセンターについて</p> <p>1. 見守り事業について</p> <p>(1) 平成 31 年度の復興交付金は申請したのか。</p> <p>(2) J O C A とは単年契約なのか。</p> <p>(3) 今後、縮小の考えがあるのか。</p> <p>(4) 複数年の計画を立てるべきではないか。</p> <p>2. いわぬまひつじ村について</p> <p>(1) 羊の飼育のスタートは被災者の心のケアだったが、今はどう捉えているのか。</p> <p>(2) 平成 31 年度の予算はどのように確保したのか。</p> <p>(3) 今後の計画はあるのか。</p>	市 長
1 1	2	菊 地 忍	<p>これからの防災対策について</p> <p>1. 近年、世界的規模の気候変動が起こり、台風や豪雨など、自然災害の規模は年々大きくなり、被害も甚大なものとなっている。その被害は、市民の生命、財産のみならず、社会インフラや農業を始めとした産業にも大きな影響を及ぼしている。これまでの対策や教訓は、今後の防災対策にも大きく資すると思うが、これからの防災対策についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(1) 今後想定される災害に対し、どのような対応を考えているのか伺う。</p> <p>(2) 被害の規模や状況などに応じて災害対策本部が設置され、対応が行われるが、状況に応じて市からの情報を地域の防災リーダーと共有する必要があると考える。情報共有のあり方についてどのような手段を想定しているか伺う。</p> <p>(3) 近年の集中豪雨は、局地的に降ることが多くなっている。国土交通省や河川事務所のサイトで阿武隈川水域の降水量や水位などを見ることができるとは思うが、市単独でも雨量計を設置し、ホームページ等に掲載するなど情報発信をしてはどうか伺う。</p> <p>(4) 近年の大雨では、各地で道路冠水や土砂崩れにより交通が寸断される状況が多発している。また、このような社会インフラの被害のみならず、個人の敷地内においても土砂崩れ、隣接する土地からの土砂の流入などが想定されるが、個人の敷地については、管理責任や個人財産の観点から、復旧のための公的な財政援助が難しいという現状もあり、また、高齢であるなど、復旧工事の費用を捻出することが困難な方もいると聞いている。</p>	市 長

(続)	2	菊 地 忍	<p>近隣では、自然災害を原因とする土砂災害や水害によって被災した住宅地の復旧を行う方に対して、住宅地崩落土砂撤去等事業補助金制度を独自に創設し、財政援助を行っている自治体もある。</p> <p>当市においても、このような制度を構築してはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市 長
			<p>香害（こうがい）と化学物質過敏症への対策について</p> <p>1. 身の回りにある、ごく微量の化学物質によって様々な健康への影響を引き起こす化学物質過敏症は、その病態や発症の仕組みなどはまだ明らかになっていない。最近では柔軟剤や洗剤、芳香剤の香りに苦しむ人も増えていると言われている。これは「香りの害」と書いて「香害（こうがい）」とも呼ばれ、健康な人であれば許容できる程度の極めて微量であっても、香りに含まれる化学物質との接触で、めまいや吐き気、頭痛などの症状が生じる人もいる。</p> <p>影響が大きいと化学物質過敏症、シックハウス症候群、ぜんそくなどの病気を引き起こし、そのうち最も深刻なものが化学物質過敏症で、これに苦しむ推定患者数は、専門医によると 700 万人と言われている。</p> <p>特に、子どもたちは症状をうまく訴えることができないために、行動として症状が出てしまうケースもあり、「落ちつかない」「いらいら」「切れる」「思考力低下」「忘れ物多発」「学力低下」など、一見するといわゆる発達障害と似た症状となってしまうこともある。学校など教育機関でも徐々に問題視され始め、教育機関側から香料製品使用の自粛についての依頼文書を保護者に出したり、ポスターやメールなどで周知したりするという動きも始まっており、県内でもいくつかの学校で、既に対応が始まっている。</p> <p>全ての人が健康で住みよいまちをつくるためにも、香料による健康への影響があることを周知する必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) 香害や化学物質過敏症の状況について、市ではどのように把握しているか伺う。</p> <p>(2) 市のホームページ、広報紙又はポスターで「香料自粛」について周知してはどうか伺う。</p> <p>(3) 各教育施設において、文書によるお知らせやポスターなどで香害等の啓発や情報発信を継続的に</p>	市 長 教育長

(続)	2	菊地忍	<p>行ってはどうか伺う。</p> <p>農福連携について</p> <p>1. 現在、国が進めている一億総活躍プランに盛り込まれている政策の1つとして農福連携がある。農家の高齢化に伴う労働力不足という大きな問題を抱える農業分野と、障害者等の就労の場の確保を求める福祉分野の連携として注目されている。障害者にとっては、能力を発揮して社会に参加し、経済的な自立につながり、また、土に触れ、植物を育てることで精神的にも肉体的にもよい作用をもたらすと期待されている。</p> <p>農業と福祉における双方の課題を解決しつつ、双方に利益があるWin-Winの関係を模索して作り上げていくことがこの農福連携の目的であり、障害者等の就労の場の確保や農山村の活性化など、活力ある地域づくりにつながる事業が各地で取り組まれている。</p> <p>(1) 農福連携について、見解を伺う。</p> <p>(2) 「農業」と「福祉」とこれまで別々の立場にあるこれらの分野を連携させることについて、課題をどう捉えているか伺う。</p> <p>(3) 農福連携は、持続可能な事業であることが必要であると考えますが、このことについて行政としてどのような支援が必要と考えるか伺う。</p> <p>(4) 当市もみやぎ農福連携推進ネットワークの構成員となり、農福連携を推進してはどうかと思うが、見解を伺う。</p>	市長
12	5	佐藤淳一	<p>予算について</p> <p>1. 予算編成について</p> <p>(1) 基本的な考え方と流れについて</p> <p>① 平成31年度予算編成方針について伺う。</p> <p>② 予算編成の流れについて伺う。</p> <p>(2) 継続されている事業(予算)の事業評価について</p> <p>① 事業評価(事業の見直し・精査)は、どのように行っているのか伺う。</p> <p>② 事業評価によって見直された事業(中止・減額など)はあるのか伺う。</p> <p>2. 重点施策と事業について</p> <p>(1) 31年度予算案の重点施策(「次世代を担う子ども</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>5</p>	<p>佐藤 淳一</p>	<p>もの教育環境づくり」「地域で子育てできる環境づくり」「健康で生きがいを実感できる高齢者の元気づくり」「安全・安心で快適なまちづくり」)でそれぞれのリーディングプロジェクトは何か伺う。</p> <p>(2) 新年度予算案で緊急性・必要性が特に高いと考え計上された主な事業は何か伺う。</p> <p>(3) 新年度予算にキャッチフレーズを付けるとすれば、どのようなものになるか伺う。</p> <p>3. 市民要望と予算編成の透明化(見える化)について</p> <p>(1) 地域の要望など市民生活に密着した事業について</p> <p>① 地域や市民の要望は何件程度あったのか伺う。</p> <p>② 要望の優先順位をどのように精査し、予算(案)化しているのか伺う。</p> <p>(2) 予算編成の透明化(見える化)への更なる取組について</p> <p>① 予算(税金)を最適配分するため、また今後厳しさを増す財政について市民に理解を深めてもらい、地域コミュニティの維持や協働を進めていくためには、予算編成の更なる透明化が必要ではないかと考える。市民からの意見を広く伺い、それぞれの要望をフェアに判断できるような取組について検討してはどうか伺う。</p> <p>4. 健全財政の維持にどのように取り組んでいくのか</p> <p>(1) 予算案では、震災前に比べて予算規模が拡大しているにもかかわらず、自主財源の割合が低下している。今後の見通しについてどのような見解を持っているのか伺う。</p> <p>(2) 公共施設の老朽化、高齢化などで財政は更に厳しさを増していくものと考えるが、将来への備えについてどのように考え対応していく(いる)のか伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>市民交流プラザの現状と起業支援、交流人口拡大について</p>			<p>市長</p>	
<p>1. 市民交流プラザの現状と今後について</p> <p>(1) 使用状況と今後の想定について</p> <p>① 利用者数について伺う。</p> <p>② 使用している団体や使用目的について伺う。</p>			<p>市長</p>	

(続)	5	佐藤 淳一	<p>(2) 市民から寄せられている声と今後の対応について</p> <p>① どのようなご意見をいただいているか伺う。</p> <p>② 利用促進など今後の対応について伺う。</p> <p>2. 起業支援、交流人口拡大について</p> <p>(1) 交流プラザでの起業支援について伺う。</p> <p>(2) 市内ラーメン店が交流人口の拡大へ貢献していると考えますが、交流プラザでのスタートアップ支援になぜ飲食店が入れるようにしないのか伺う。</p>	市長
13	15	飯塚 悦男	<p>外国人との共生について</p> <p>1. 昨年12月8日に、出入国管理法改正案が国会で可決、成立した。これまで日本は技能実習生、日本語学校生など相当数の外国人を入国させたが、在留期間は最長でも5年以内というものが多く、国際交流や技術移転が目的であった。</p> <p>改正法案の中核は特定技能の創設で、専門的・技術的分野に限定して就労が認められる在留資格を創設し、介護や外食、建設、農業など14業種で5年間、最大で約35万人を受け入れるといった、従来の方針を一大転換する改正である。</p> <p>このことについて、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 「今日の日本社会は安心で安全で正確で清潔、世界で最も平等な社会である。だが多様性に欠け、意外にも乏しく楽しくない「低出産・低起業、低成長」の三低社会である。これを打破するには外国人の流入、定住する多様な社会が実現することが望ましい。」と、先日亡くなった作家の堺屋太一先生は発言していた。</p> <p>このことについて、市長の見解を伺う。</p> <p>3. 市内にも約300人の外国人が居住しており、今後ますます増加するものと思われる。外国人との共生をどのように考えているのか、市長、教育長の考えを伺う。</p> <p>4. 法改正により、特定技能2号になれば、配偶者、子どもとの同居も可能となり、将来的に永住への道が開かれることとなり、今後当市でも外国人が増加する可能性が出てくるとと思われる。学校にも影響があると思われるが、教育長のビジョンを伺う。</p>	市長 教育長
14	8	酒井 信幸	<p>岩沼橋架替工事に伴う周辺地域等への影響について</p> <p>1. 岩沼橋架替工事について</p> <p>(1) 橋の架替工事の工法と工期について伺う。</p>	市長

(続)	8	酒井信幸	<p>(2) 地域住民に対する説明会の実施状況について伺う。</p> <p>(3) 工事着手後の地域住民からの意見や苦情等の有無について伺う。</p> <p>2. 岩沼橋架替工事による周辺地域への影響について</p> <p>(1) 架替工事が始まり市道藤浪線が通行止めとなったことにより、地域店舗の売上げが減少している。市としてどのように思っているのか伺う。</p> <p>(2) 架替工事が始まり、市道藤浪線が通行止めとなったことをどのように周知しているのか伺う。</p> <p>(3) 市道藤浪線が通行止めとなったことで、市道二木大通線の市道岩沼中央線との交差点から国道4号の間と、市道本町早股線の竹駒寺駐車場前から国道4号までの間では、時間帯により渋滞がひどくなっているが、渋滞解消の対策は行っているのか伺う。</p> <p>(4) 架替工事を行う前に、工事による地域への影響について検証したのか伺う。</p> <p>(5) 工期の短縮は考えられないのか伺う。</p>	市長
歩道の改修について			市長	
<p>1. 平成29年9月の第3回定例会でも歩道の改修について質問し、危険な箇所から優先的に改修する旨の答弁をいただいた。しかし、二木大通線（市道岩沼中央線交差点から国道4号まで）の歩道の傷みや点字ブロックが剥がれた箇所はひどい状態のままで、いまだに改修されていない。改修工事はいつ行われるのか伺う。</p>				